

様式3 令和6年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	「美しく 温かく ひとみ輝く 新開小学校」 ～「どの子どももみんな一分の一」一人一人の児童に最適な支援をする学校づくり～
------------------	---

学校名	新座市立新開小学校
実施日	令和7年1月14日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。	B	I C Tを使つての情報伝達や予定表の共有、アンケートの集計、児童のワークの提出等は業務の効率化につながっている。しかし、必ずしも全てが効率化につながっている訳ではなく、使うタイミングや効果を検討しながら授業計画を立てて必要がある	B	全体的にはICT活用することにより業務の効率化が行えているように感じる。ただまだ全職員が活用できていないとも感じる。ICT活用が必ずしも業務の効率化につながるわけではないと思うので、働き方改革を進める上で今後も使い方、使う場面を精査していただきたいと思う。

評価項目「学力向上」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	B	必要感や意欲をもって学習に取り組めるよう工夫して授業に取り組む教員が増えた。しかし、授業時間内に振り返りを行えない教員も若手中心に多い。時間配分も含め、授業計画を立てるよう今後も授業研究を継続して行っていく。	B	電子化が進みよい点もあるが、すべてICTに頼るのではなくプリントや板書の良さもあると思うので、臨機応変に活用して授業が行えるとよいのではないかと感じる。その中で振り返りの時間は必要と感ずるため、要望としてその時間の確保ができるよう期待したい。

評価項目「豊かな心の育成」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつする環境を醸成している。	B	授業の中や、生活目標の振り返り、廊下ですれ違ったときなど、折に触れ、自学級や他学級の児童に対して、指導している。しかし、担任外や校外、地域の方にはまだ十分に挨拶できない児童も見られる。今後は保護者の協力を仰ぎ、地域一体で挨拶に取り組みたい。	B	学校内では来校者に挨拶できる児童が多いと感じる一方、地域での挨拶が出来ていないと感じる。指導として、ただ「挨拶しましょう」と伝えるのではなく、場面に合わせての挨拶の指導をお願いしたい。なお、挨拶は家庭での教育が基本であると思うので各家庭の努力にも期待していきたい。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、体育や休み時間などを通して、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	C	ワークシートやタブレットを使用して、意欲的に取り組めている教員とまだまだ声掛けや取組に改善が望まれる教員に別れた。この差が縮まるよう、体育主任が中心となり、体育の指導法の研修を行っている。	C	体育カードの活用や短縄等、学校の努力も伺える一方、やはり体力向上にはまだまだと遠いと感じる。授業時間が減少の中、体力向上に努めるのは難しいと思うが、継続的な身体作りを行い、先生方の的確な指導のもと児童が意欲的に運動に親しめるように運動量を確保する努力をお願いしたい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、保護者や地域と連携した活動を計画的に実施している。	A	地域の高校生徒や特別支援学校児童の交流、ボランティアによる総合や図工、家庭科、生活科の授業の手伝い等、地域との連携を行ってきた。また、校長による毎日のホームページの更新は開かれた学校につながっている。保護者からの要望や相談についても管理職を交えずすぐに対応してきた。	A	保護者や地域からの意見・要望は基本的に共有され迅速に対応できているのは評価できる。保護者協力のもと地域と連携し、学校・保護者・地域とコミュニケーションを密にし、連携した学習を年間計画書で共有できればさらに計画的に実施できると感じる。